

この5日間、一日目を除いて、有名な観光地での、作業がほとんどだったので、何か、働きの来たのか、観光案内してもらったのかよくわからない気分になりました。奈良井、上高地、美ヶ原、黒部ダム、白馬と行きました。そこで、森林管理署の方々には大変お世話になり、普段は体験できないお仕事に触れさせていただいて、とても勉強になりました。奈良井では、間伐の監督業務等などについて学びました。初日とあって、かなり緊張していましたが森林官の方が丁寧に山のことを教えてくださったので、すぐに緊張はほぐれました。ここでは、間伐する道を作る作業を見させてもらったのですが、一見簡単そうに見える地味な作業でも、凄いテクニックが必要で、現場の人達は達人が多く、感動しました。高地では、主に治山工事の内容や、治山の目的、また砂防と治山の違いについて学びました。治山を行うには、様々な法が関わっているので、とてもややこしい事業だと感じ、また数年かけて行う作業なのでとても費用がかかり、1ha、一億五千万円かかると聞きとても驚きました。因みに治山の目的は山の傾斜を緩くすることで森を再生させるのが目的なのですが、それにもダムの大きさが決まっているのと、景観に配慮してある工夫が施されていて、環境のことを考えている事に感心しました。美ヶ原では、高山植物の保護・保全について、またシカの被害や植物の名前などを学びました。仕事の内容は、高植協同パトロールの参加、普及啓発業務の体験だったのですが、僕たちに親切に美ヶ原のガイドや高山植物の説明などをしてくれました。また、美ヶ原は観光地なのにほとんどゴミが無く、GSSの方たちの努力により、環境が保たれている事が実感できました。自分は植物に興味があったのでとても高山植物の名前とか覚えられてかなり勉強になりました。黒部ダムでは、土地の管理や民有林と国有林の境界の管理の仕方について学びました。大変地味な作業にも関わらず、この業務が国有林の境界の管理の中で一番重要だというのは、ちょっと驚きましたが、国も地主なので民有林と境をはっきりさせて問題を事前に防ぐことは確かに重要だと思いました。白馬では子供達と触れ合いながら、森林の働きについて教える仕事をしました。突然リーダーをやらと言われて最初ビックリして、うわあ~と思ったのですが、よくよく考えてみると子供と触れ合える機会も、そうそうなく、貴重な体験ができたと思います。この五日間、森林管の方々には大変お世話になりました。最初はみんな怖そうだなあ~とか思っていたのですが、森林管理署の方々には気さくな方が多くとても楽しかったです。また、僕が蝶が好きということで、沢山の人にいろいろ協力して下さって感謝しています。そして、今回、改めて気付かされたのですが、僕たちが安心、安全に暮らせているのは、こういった森の管理をしている人達の働きのおかげなのだと、強く感じました。また、とても誇りに思える仕事だとも気付きました。今回の5日間は本当にお世話になりました。僕は将来のことは何も考えてなかったのですが、今回の経験でいろいろ考え、良い刺激になり、今後の自分の良い糧になるのではないかと思います。5日間本当にありがとうございました。